

技術の名称

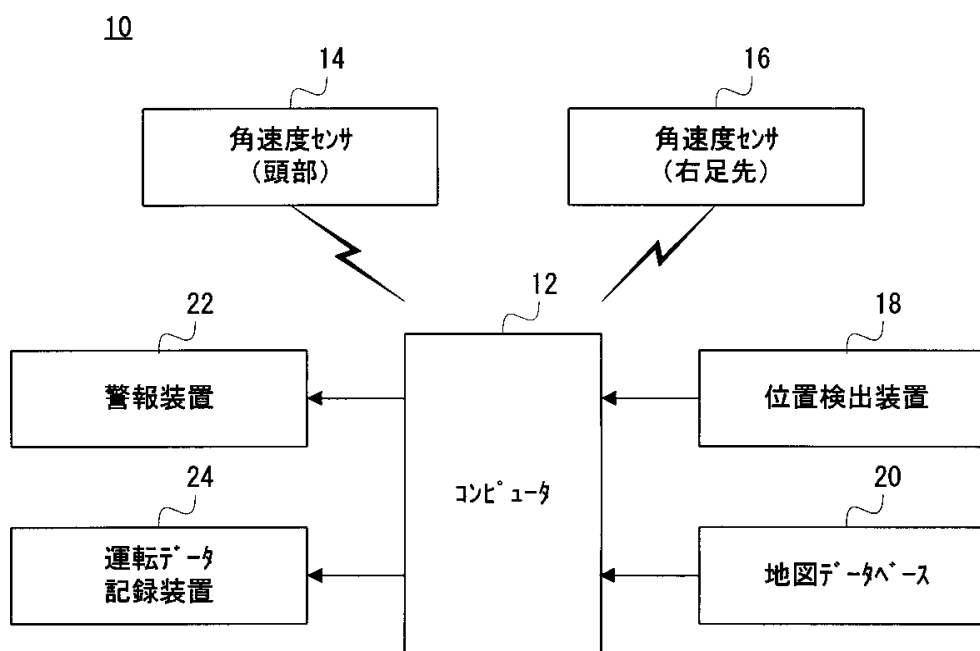
危険運転予防意識判定システム

適用分野

自動車業界、自動車による運送業界、タクシー業界、トラック業界、自動車教習所

- 目的 本発明の目的は、自動車運転者の危険運転を予防する意識の度合を判定して危険運転を未然に防止しようとするものである。
- 効果 本発明によれば、自動車運転者の危険運転を予防する意識の度合が判定できるので、危険運転を未然に防止できる。またその判定結果は機械的に出されるので、危険運転予防意識の低い運転者にも説得力をもって注意を喚起することができる。
- 技術概要 自動車事故が発生し易い交差点などの危険箇所へ進入する際に、運転者の危険予防動作が行われたか否か、具体的には頭部を左右に向けて視覚による交差点の状況を確認したかとか、アクセルペダルから足を離して危険箇所への対応ができていたかどうかを検出して運転者の危険運転に対する予防意識を判定し、その結果を表示したり記録したり、或いは運転者に警報を発したりする。

■ 特記事項、図など



■ 主たる提供特許

特許等の名称 : 危険運転予防意識判定システムおよび危険運転予防意識判定方法

登録番号

出願番号 : 特願2008-318057

出願日 : 平成20年12月15日

公開番号 :

■ 実施実績

○有、 無

■ 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp